

	10月累計	4月～9月
組合員ふやし	4人	565人
出資金ふやし	9万円	5330万円
純増	△68万円	368万円

生協強化月間スタート集会～五日市支部 29名の参加

9/26 セラバンド体操班終了後、五日市診療所にて五日市支部強化月間スタート集会が開催されました。会を盛り上げるためにレクリエーションを引き受けてくださったのは、己斐上脳いきいき班から来てくださった3名の班員さんです。手遊びをしながら歌を歌ったり、お口の体操をしながら、脳いきいきの雰囲気を楽しみました。もちろん、レクリエーションだけではなく、支部運営委員会と診療所から、強化月間の意義についてもお話しました。「五日市の地域も高齢化が進んでいて、独りぼっちをつくらない、地域で元気に暮らすことが、住民のみなさんから求められています。生協と仲間増やしの活動は、この思いに叶えるものになると思います」診療所事務長下久保さんの言葉に、参加された皆さんはしっかりと頷かれています。



月間キックオフ集会(9/27) 報告③ 福山医療神辺支部に学ぶ

福山医療生協神辺支部では、支部主催のまつり成功のため地域訪問を開始。

昨年度は3か月間で21回の訪問を実施・加入20人。今年は、24回の訪問で加入13人。

福山医療生協の神辺(かんなべ)支部では、2014年から「絆サロン・ひまわり」を運営。翌年からもっと医療生協を地域の人に知ってもらいたいと支部主催で「神辺ふれあいまつり」を開催されてこられたということです。

まつり成功に向けて、連日、組合員訪問・地域訪問を続けておられます。訪問してみると「医療生協ってどんなことをしているの?」と組合員さんにも聞かれることが多く、組合員さんともじっくり話していくことが大切だと痛感したそうです。体調に不安をもっておられた方から「もっと早く生協加入に誘ってほしかった」と言われたこともあり、仲間ふやしそのものが運営委員だけの取り組みでなく広がってきたとのこと。

今年のまつり準備・訪問行動をするなかで、まつりの担い手さんがすでに47名にも。藤田実行委員長は「こういう取り組みの中で、1対1の個別のつながりが、2対2、班活動を通じてのつながりへと大きくふくらんでくる。行き詰った時もあったけど、副実行委員長が『私が支えるよ』と背中を押してくれた。いいと思ったことは二人三脚からでも動き出せます」と言われていました。元気いっぱいの報告をいただきました。本当にありがとうございました。



